



成果指標				
成果指標	委託件数			
指標設定の考え方	委託業務をできるだけ作業別にし、まとめて委託するようにして合理性を図る。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目 標	15	20	20	0
実 績	26	10	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	街路樹の管理については、おおむね妥当な時期に管理することが出来、委託内容についても合理性を図る事が出来た。除草作業は、効率が上がりにくいものである。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	適切な時期に消毒、剪定、除草を実施することで景観を損なわないようにすることが重要である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	街路樹の枯損が見られるが、適宜にパトロールを実施し、発見しだい植替えするなど、景観形成の観点から早急な対応が必要である。

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。